

宮城県林業試験研究推進構想 【概要版】

I 推進構想の位置づけ

- 林業技術総合センターでは、平成20年3月に策定された「みやぎ森林・林業の将来ビジョン」を受け、平成20年度から10年間を計画期間とする推進構想を計画し、ビジョンの目標を実現すべく試験研究に取り組んできました。
- しかし、東日本大震災以降は、暫定的に、平成23年10月に策定された「みやぎ森林・林業の震災復興プラン」を技術面から支える研究開発を進めています。
- 本推進構想は、策定より5年以上を経過したことから、その後の森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢の変化(震災を含む)に呼応した課題等を整理し、今後の取り組むべき林業試験研究の方向性を示すものです。

II 基本的な考え方とポイント

- みやぎ森林・林業の将来ビジョンに掲げる、2つの政策推進の基本方向である、「活力ある林業県宮城の実現」及び「美しい森林づくりによる安全・安心な県土の実現」を目指す試験研究推進の方向性を踏襲します。
- みやぎ森林・林業の震災復興プランを加速させていくための側面的技術支援に向けた取組を明示します。
- 県民や実需者等からの要請に、可能な限り迅速かつ柔軟に対応します。

III 計画期間

- みやぎ森林・林業の震災復興プランの再生期及び発展期に合わせ、平成26年度から平成32年度までの7年間とします。
- 今後の復興に向けた取組の進捗状況や社会情勢の変化等により、必要に応じて見直しを行います。

IV 主要目標と取り組むべき主要課題

主要目標	主要課題	震災復興プランの支援
活力ある林業県宮城を実現する技術開発	森林や林産物における放射性物質の拡散による影響等の解明と改善・制御技術の開発	○
	成長産業化を牽引する県産材や木質バイオマスの多面的利活用技術の開発	○
	持続可能な森林経営に向けた新たな管理技術の開発	
美しい森林づくりを推進する技術開発	海岸防災林の再生に向けた造成、育苗及び管理技術の開発	○
	優良品種の確保と種苗の安定供給に向けた技術の開発	

V 試験研究の効率的な推進

- 関係機関との連携と共同研究の推進
- 異業種間コンソーシアムによる6次産業化の推進
- 優れた研究者の育成・確保
- 試験研究ニーズの収集
- 試験研究の評価

VI 試験研究成果の普及

- 行政、普及指導事業による成果の活用・普及
- 試験研究情報の発信
- 知的財産の保護と活用
- 将来ビジョン、震災復興プランへのフィードバック